

自分の命は自分で守ります

村内3保育所で消防大会

6月26日から28日にかけて、長陽西部・長陽・立野保育所の幼年消防クラブによる、園内消防大会が行われました。

26日の立野保育所では、お揃いの法被に身を包んだ12人の園児たちに、浅尾園長が委嘱状を交付。阿蘇広域消防本部の福永予防課長が、「火事の際は先生や、お父さん、お母さんの言うことを聞いて早く避難してください。自分の命は自分で守ることを覚えておいてください」とあいさつされました。

委嘱状交付後は、「ミニ腕用ポンプ操法」や、「O×クイズ」、建物間をロープで渡る「斜めブリッジ救出体験」などを体験。園児たちの可愛らしく機敏な動きに、会場からは拍手が送られました。



「ミニ腕用ポンプ操法」を体験する園児たち

みなさん

てん長ちはっ!

かさの ひな
笠野 姫菜ちゃん(3歳・女)
 ゆうま
佑匡くん(1歳・男)

保護者/ 紘 希さん
 恵利菜さん
 地区名/ 栃木



表紙の説明



7月15日に行われた一関一区の八坂神社「祇園さんまつり」では、10年ぶりに大人や子どもたちによる「みこし」が復活。子ども「みこし」は地元の職人による手作り「みこし」。「ワッショイ、ワッショイ」と威勢のよいかげ声が響きわたりました。

こちら編集長!!

7月12日に発生した豪雨災害は、多くの命と財産、平和な暮らしを一瞬にして奪い去りました。

幼い頃、習い事で毎週通った道や風景は、土砂にのまれ変わり果ててしまいました。つい数カ月前、閉校記念式典で懐かしんだ校舎が避難所となり、小学生当時、まだ幼かった男の子を式典で見かけ、「大きくなったね」と笑いながら話しました。その青年は、この災害で命を落としてしまいました。心からご冥福をお祈りします。

東日本大震災から一年余が過ぎ、いつかは、この村にも災害が起きるかもしれないと思いながら、その反面本当に起きるんだろうかという思いでした。

九州北部地方を襲った豪雨は、大きな爪痕だけを残し、何事もなかったかのように梅雨明けとなりました。自然の力は人に感動を与え、そして恐怖も与えます。多くの犠牲を無駄にしないためにも、今回の体験を教訓としなければいけないと感じました。

〈奈央〉

人口

南阿蘇村	男	5,753
	女	6,255
	計	12,008
	世帯数	4,634

平成24年7月31日現在